



くららフェスタ実行委員会

## くららフェスタ 2024 の出展者を募集します！

くららフェスタは、栃木市をよりよくしようと活動している団体や市民の皆さんが集い、展示・体験・発表・販売などをおして市民同士の出会いと交流を広げるためのイベントです。今年度は「文化祭」をテーマに栃木市市民交流センター全館で行います！

募集の詳細は 11/11 (土)  
よりメール・郵送・掲示で  
お知らせします。



今年は市民交流センター  
ともコラボ！

日 時：2024年3月10日(日)  
11:00~15:30  
場 所：栃木市市民交流センター1階~4階  
内 容：展示・体験・発表・販売など  
募集期間：2023年11月11日(土)~  
12月11日(月)  
主 催：くららフェスタ実行委員会  
共 催：栃木市  
とちぎ市民活動推進センターくらら

### ◎出展者説明会&交流会

日時：2024年1月20日(土)  
13:30~15:30  
場所：栃木市市民交流センター1階大交流室

### くららで話そ！

不登校の過去・現在から日本の未来を考える  
~不登校に替わる言葉を考えよう~



不登校の子や親のための活動を長く続けている石林さんから、不登校の過去・現在についてお話しいただきます。

日 時：11月24日(金) 19:00~20:30  
場 所：栃木市市民交流センター  
1階交流スペース  
ゲスト：石林正男さん(栃木登校拒否を考える会・栃木自主夜間中学)

### くららのSNS



Facebook



X  
(旧 Twitter)



Instagram

レポート 令和5年度 市民活動推進講座  
森と土から考える環境再生と地域づくり  
~山・里・街から湿地まで、流域でつながろう！~



くららに来て、みんなで話そ！  
参加無料・予約不要・お気軽に！

# 「くららで話そ！」

報告



第312回 9月25日(木) 18:00~19:30  
想いをカタチにして届ける TOCHICO 日和のまちづくり  
ゲスト：TOCHICO 日和 松本真由美さん

「相手の良いところに注目する」「常にアンテナをはり、人との出会いを大切にす  
る」…松本さんが「TOCHICO 日和」の活動で大切にしていることだそうです。活動の根幹にあるの  
は、子育てしているママたちの経験。「すでに出来上がった輪に入ることの大変さ」「相談したいのに  
わかってもらえない辛さ」などなど、ママたちの本音が活動の原動力に。子育て世代に向けた冊子にと  
どまらず、「人と人がつながる場所を作りたい」「若者たちとまちづくりに取り組みたい」とイベント、  
サロン、マルシェなど、たくさんの方に取り組んでいますが、それらの出発点は、偶然に出逢っ  
た方に「笑顔になってほしい」という思い。それがカタチになり、さらにはその後ろにいる多くの方  
にもむけて届けられる活動。松本さんの“スーパーポジティブ”!!!な精神と人とのつながりの大切さ  
を感じた貴重なひと時でした。

## 助成金情報

とちぎコミュニティ基金

花王ハートポケット倶楽部 地域助成（栃木地区）

対象事業：活動分野を問わず、「心温まる活動」「地域で必要とされる活動」  
対象団体：1年以上の活動実績を有する栃木県内の NPO・市民活動団体・ボランティア団体  
助成額：20万円（1団体）、10万円（3団体）  
対象期間：2024年4月1日～2025年3月31日  
応募締切：2023年11月20日（月）  
問合せ：とちぎコミュニティ基金 TEL 028-622-0021 FAX 028-623-6036



公益財団法人 大阪コミュニティ財団（OCF）

2024年度助成

対象事業：公益に資する事業  
対象団体：1年以上の活動実績を有する非営利団体（法人格の有無は問わない）  
助成額：助成する基金の種類・分野によって助成額が異なる  
対象期間：2024年4月1日～2025年3月31日  
応募締切：2023年11月27日（月）  
問合せ：大阪コミュニティ財団 TEL 06-6944-6260 FAX 06-6944-6261



独立行政法人 環境再生保全機構

2024年度地球環境基金助成金

対象事業：環境保全に関する幅広い分野  
対象団体：特定非営利活動法人、一般社団法人、一般財団法人、公益社団法人、公益財団法人、任意団体  
助成額：50万円～1,200万円（助成メニューによって助成額と対象期間が異なる）  
応募締切：2023年12月4日（月）  
問合せ：環境再生保全機構 TEL 044-520-9505 FAX 044-520-2192





# 登録団体からのお知らせ



## 栃木市国際交流協会

### 蔵の街ふるさとまつり 世界のグルメ横丁

横丁のおいしいグルメを食べに来てください！

日 時：2023年11月11日（土）・12日（日）  
10：00～16：00

場 所：とちぎ山車会館前広場

内 容：中国料理・アジア料理・韓国料理・スリランカ料理・フィリピン料理・ネパール料理・ベトナム料理・ブラジル料理・ペルー料理

問合せ：栃木市国際交流協会  
TEL 0282-25-3792

## 渡良瀬遊水池を守る利根川流域住民協議会

### ヤナギ除去作戦

湿地保全のためのヤナギ除去に取り組んでいます。関心のある方は是非一度活動をご覧ください。

日 時：2023年11月11日（土）9：30～12：00  
集合場所：桜つつみ部屋駐車場

活動場所：湿潤環境形成実験地 1

内 容：湿地の植物の生育を妨げるヤナギを伐採する  
持ち物：長袖シャツ（黒系は不可）、長ズボン、長靴、帽子、タオル、飲料水

問合せ：渡良瀬遊水池を守る利根川流域住民協議会  
TEL 0282-23-1078

## 栃木市子ども食堂ネットワーク

### 食品&食事配布会のお知らせ

市民の皆さんや農家の方々、社会福祉協議会、フードドライブなどで集まった食材の配布会を行います。

日 時：2023年11月24日（金）16：00～19：00

場 所：ふれあいコープ特別養護老人ホーム  
かたやなぎ

申込み：電話またはQRコード

問合せ：栃木市子ども食堂ネットワーク  
TEL 0282-24-9833



## とちぎ歌麿シアタープロジェクト

### 歌麿夢芝居 恋しや恋し母子草—最終章—

謎多き喜多川歌麿。その出生の秘密と共に明かされる肉筆画大作“深川の雪”の行方は…。

日 時：2023年11月25日（土）・26日（日）  
14：00 開演

場 所：とちぎ岩下の新生姜ホール 大ホール

チケット：前売 2,500 円、当日 3,000 円  
小学生～大学生 1,500 円

問合せ：とちぎ歌麿シアタープロジェクト  
TEL 0282-22-1093

## にじ色まつり実行委員会

### にじ色まつり

とちぎの障がい福祉を明るくするイベント「にじ色まつり」を開催します。

日 時：2023年11月25日（土）10：30～14：30

場 所：とちぎ山車会館前広場

内 容：バンド演奏、手話歌、障がい者スポーツ用具の展示、キッチンカー、バルーンアート、映画上映〈逃げ遅れる人々 - 東日本大震災と障害者〉、フードドライブなど

問合せ：にじ色まつり実行委員会  
TEL 090-7701-3130

## 佐藤純一

### 佐藤純一ギターコンサート

栃木市在住。演奏、レッスン、YouTube で活動中。

日 時：2023年11月26日（日）14：00 開演

場 所：小山市立生涯学習センター ホール

内 容：モーツァルトの魔笛の主題による変奏曲  
op.9、6つの小品 op.42、幻想曲〈友情の思い出〉 op.46、6つ小品 op.47 など

チケット：前売 2,000 円、当日 2,500 円

問合せ：佐藤純一ギター教室  
TEL 090-3104-0348



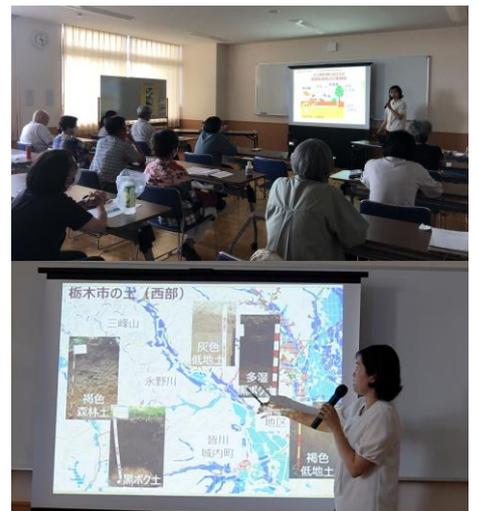
森と土から考える環境再生と地域づくり～山・里・街から湿地まで、流域でつながろう！～

栃木市は、山・里・街から渡良瀬遊水地までが流域としてまとめ、森林・農地・湿地などの多様な環境と生態系に恵まれた地域です。森林・農地の管理や獣害などの上流部の地域が抱える課題と、水害や湿地の保全などの下流部の地域が抱える課題とを結びつけて考えるため、「森」と「土」の2回に分けて講座をひらきました。



第1回「森」では、福島大学の福島慶太郎さんから、森林と窒素との関係を中心にお話しいただきました。窒素は空気中の約78%を占めます。窒素は生物にとって重要な栄養源ですが、大量に水に流れ込むと、富栄養化による水質の悪化を招きます。森林では、植物と土壌（微生物）が養分として窒素を保持するため、窒素が川に流出することはありません。ですが、樹木を一斉に伐採してしまうと、保持しきれない分の窒素が川に流出してしまいます。シカが森林の下層植生を食べつくしてしまうことも問題で、下層植生が保持していた分の窒素が川に流出して水質を悪化させるだけでなく、むき出しになった土壌が大雨で流されてしまいます。すると、石が多かった川底に砂や泥が多く溜まるようになり、水生昆虫や魚の生息環境が大きく変わってしまうなど、生態系への影響も広がってしまいます。

第2回「土」では、宇都宮大学の早川智恵さんから、土壌と炭素との関係を中心にお話しいただきました。土の色が黒く見えるのは、たくさんの有機物（炭素）が含まれているからです。そもそも土とは、岩石などが細かくなってできた粘土と、動植物の遺骸が微生物に分解される過程で生成した土壌有機物（腐植）などを含んだ複合体です。腐植が粘土と結合すると炭素が土の中に蓄積され、微生物に分解されると炭素が土から空气中に放出されます。土に含まれる有機物の量は食料生産に深く関わり、有機物を5倍多く含む土は100倍の人口を支えることができます。落ち葉や生ごみなどの有機物からできる堆肥を使用すれば、光合成で二酸化炭素を吸収した分の炭素の一部を土に蓄積できるため地球温暖化の緩和につながり、また、有機物を含む土は保水力を増すため洪水の緩和にもつながります。



いかがでしょうか？どちらも講演の記録動画がありますので、視聴したい方は申込みフォームよりお申し込みください。確認後、動画を視聴できるURLをお送りいたします。QRコードからどうぞ➡



とちぎ市民活動推進センターくらはとは

ボランティア、NPO、社会貢献活動などの市民活動を推進する拠点です。栃木市をよりよくしようと、さまざまな分野で活動している市民の皆さんの意見交換や交流、情報収集・発信の場として活用されています。



開館時間 月～土 10:00～21:00 日・祝 10:00～17:00  
 休館日 水曜日・年末年始  
 〒328-0016 栃木県栃木市入舟町6-8 栃木市市民交流センター内  
 TEL 0282-20-7131 FAX 0282-20-7132  
 E-mail kurara-tochigi@cc9.ne.jp  
 ホームページ <http://www.kurara-tochigi.org>



※くらはは、NPO 法人ハイジが栃木市の委託を受けて管理運営しています

編集後記

最近の私はコーヒーを飲むひと時を大事にしています。北欧の国・フィンランドでは、Fika（フィーカ）といってコーヒーを飲む時間を誰かと共有する習慣があるようです。たまにはほっと一息、日常から離れてみるのはどうでしょう。（大塚）

登録団体数：238団体  
 会員数：21,870名  
 （令和5年11月1日時点）